

世界史

I

解答

問 1. 1—⑥ 2—③ 3—⑤ 問 2. ① 問 3. ②

問 4. ② 問 5. ① 問 6. ③ 問 7. ④ 問 8. ④

解説

《古代オリエント史》

問 4. ②誤文。中王国の中心地はテーベである。

問 5. ②誤文。世界最古の金属貨幣を用いたのは、リディア人である。

③誤文。キープが用いられたのは、インカ帝国においてである。

④誤文。スキタイは前 7～前 3 世紀頃に黒海北岸で勢力をもった遊牧民、遊牧国家である。ヒッタイトは、前 17 世紀頃に建国し、前 14 世紀頃に最盛期を迎えた。よって、ヒッタイトが「スキタイ文化の影響を受けた」という記述は誤りと判断できる。

問 6. ①誤文。地中海東岸のセム語系民族のうち、ヤハウエへの信仰をもったのはヘブライ人である。

②誤文。地中海東岸のセム語系民族のうち、ダマスクスを拠点としたのはアラム人である。

④誤文。ビザンティオンを建設したのは、ギリシア人である。

問 7. ④誤文。アッシリア王国は前 612 年にメディア・新バビロニア連合軍に敗れて滅んだ。アッカド人の王国は前 22 世紀頃に滅んでおり、誤りである。

問 8. ①誤文。アルダシール 1 世はササン朝の建国者である。アケメネス朝の建国者はキュロス 2 世である。

②誤文。「パルティア」が誤り。パルティアは紀元前 3 世紀から紀元後 3 世紀の国である。アケメネス朝は紀元前 6 世紀から紀元前 4 世紀の国なので、アケメネス朝がパルティアを征服したという記述は誤りである。

③誤文。コンスルは、共和政ローマにおける国家の最高官職である執政官

のことである。アケメネス朝で全国に置かれた知事はサトラップと呼ばれた。

Ⅱ 解答 問1. 11—⑨ 12—⑥ 13—④ 問2. ④ 問3. ①
問4. ② 問5. ③ 問6. ② 問7. ② 問8. ①

解説

《モンゴル帝国史》

問2. ④誤文。「靖康の変」が誤り。土木の変が正しい。土木の変では、オイラトのエセンが明の正統帝を捕らえた。靖康の変は金が北宋を滅ぼした事件である。

問4. ①誤文。ワールシュタットの戦いに勝利したのは、バトゥである。バトゥは当時の皇帝オゴデイ（オゴタイ）によって西方に派遣された。

③誤文。「滅ぼした」が誤り。クビライは複数回ベトナムに遠征軍を送って陳朝と戦ったが、撃退された。

④誤文。朝鮮に侵攻し、李舜臣らの抵抗を受けたのは、豊臣秀吉である。

問5. ①誤文。鳩摩羅什が仏典を翻訳したのは、五胡十六国時代である。

②誤文。司馬光が『資治通鑑』を著したのは、北宋の時代である。

④誤文。李白や杜甫らが活躍したのは、唐代である。

問7. メモ1が誤り。「ジャンク船」が誤り。ムスリム商人がインド洋海域で用いたのは、ダウ船である。ジャンク船は、主に中国商人が南シナ海交易で用いた貿易船である。

問8. ②誤文。マカートニーは、乾隆帝治世下の清にイギリスから派遣された外交官である。フランス王ルイ9世がモンゴル帝国に派遣したのは、ルブルックである。

③誤文。イブン＝ルシュドは、コルドバ生まれでムワッヒド朝に仕えた医学者・哲学者である。モロッコ出身の旅行家で大都を訪れたのは、イブン＝バットゥータである。

④誤文。ラス＝カサスは、スペインによるラテンアメリカの先住民酷使を批判したことで知られる聖職者である。大都でカトリックを布教した修道士としては、モンテ＝コルヴィノが有名である。

Ⅲ

解答

問 1. 21—⑦ 22—⑥ 23—⑧ 問 2. ④ 問 3. ①

問 4. ③ 問 5. ② 問 6. ④ 問 7. ③ 問 8. ①

解説

《近世・近代ヨーロッパの王女たち》

問 3. ②誤文。「カルマル同盟」が誤り。カルマル同盟は 1397 年にデンマーク王が中心となり、デンマーク・スウェーデン・ノルウェーが結成した同君連合である。オランダ独立戦争に際し、北部 7 州が結んだのは、ユトレヒト同盟である。

③誤文。オランダ独立戦争に際し、南部 10 州は戦線を離脱し、スペイン領としてとどまった。南ネーデルラントがベルギーとして独立するのは、ウィーン体制期の 1830 年である。

④誤文。「カルロヴィッツ条約」が誤り。ウェストファリア条約が正しい。カルロヴィッツ条約は、1699 年にオスマン帝国とオーストリアなどが結んだ条約である。

問 5. ①誤文。「ズデーテン」が誤り。フリードリヒ 2 世がオーストリアから奪ったのは、シュレジエンである。ズデーテンはドイツ系住民が多いチェコスロヴァキアの都市である。1938 年のミュンヘン会談でナチス＝ドイツに割譲されたことで知られる。

③誤文。『戦争と平和の法』を著したのは、グロティウスである。

④誤文。サンサーシ宮殿はロココ様式の建築である。

問 6. ④誤文。「第一次世界大戦」が誤り。血の日曜日事件は日露戦争の戦況悪化がきっかけで起こった。

問 7. ①誤文。アヘン戦争の講和条約である南京条約でイギリスが獲得したのは、香港である。

②誤文。ベルリン会議の結果イギリスが占領と行政権を認められたのは、キプロス島である。イギリスがセイロン島を獲得したのは、ウィーン会議（1814～15 年）の結果である。

④誤文。「チュニジア」が誤り。ウラービー運動を鎮圧して、事実上イギリスの保護国となったのは、エジプトである。チュニジアはフランスによって保護国化された。

問 8. メモ 2 が誤り。英露協商はイラン・アフガニスタン・チベットにおける、イギリスとロシアの勢力圏を画定した協約である。

IV

解答

問 1. 31—② 32—① 33—⑦ 問 2. ③ 問 3. ②

問 4. ① 問 5. ③ 問 6. ④ 問 7. ③ 問 8. ②

解説

《アメリカ合衆国の外交政策》

問 3. ①誤文。「民主党」が誤り。リンカンは共和党の大統領候補として当選した。

③誤文。ミズーリ協定は 1820 年に結ばれており、南北戦争（1861～65 年）中に結ばれたものではない。南北戦争中、北部はホームステッド法（自営農地法）を制定して、西部の支持を得た。

④誤文。最初の大陸横断鉄道が完成したのは 1869 年であり、南北戦争（1861～65 年）中ではない。

問 4. ①誤文。「ハイチ」が誤り。アメリカ＝スペイン戦争は、キューバのスペインに対する独立運動をきっかけに起こった戦争である。

問 6. ①誤文。アメリカ＝メキシコ戦争は 1846～48 年に起こった戦争であり、フランクリン＝ローズヴェルトが大統領を務めたのは 1933～45 年であるため誤り。

②誤文。「スターリン」が誤り。フランクリン＝ローズヴェルトは、イギリス首相のチャーチルとの大西洋上会談の結果、大西洋憲章を発表した。

③誤文。ドルの金兌換を停止し、ドル＝ショックを招いたのはニクソンである。

問 7. ①誤文。国際連合憲章が採択されたのは、サンフランシスコ会議においてである。オタワ連邦会議は、世界恐慌への対応のためにイギリス連邦内で実施された会議である。オタワ連邦会議の結果、スターリング（ポンド）＝ブロックが形成された。

②誤文。国際連合の本部は、アメリカのニューヨークに置かれている。国際連盟の本部は、スイスのジュネーヴに置かれた。

④誤文。東西ドイツの国際連合への同時加盟は、1973 年である。ベルリンの壁が開放されたのは 1989 年であるため、誤り。

問 8. ②誤文。「西側諸国」が誤り。経済相互援助会議（コメコン）は東側諸国がマーシャル＝プランに対抗するために創設した。